

## 噴火浅根の火山活動解説資料

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

噴火浅根で海底噴火が発生したようです。周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。

昨日（27日）23時14分に噴火警報（周辺海域）、23時18分に火山現象に関する海上警報を発表しました。

### 防災上の警戒事項等

周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

### ○ 活動概況

気象衛星ひまわりの観測によると、噴火浅根（母島の南西約160kmにある海底火山）で、27日18時頃から噴煙の可能性のある雲が見え、21時頃から火山灰の可能性が明瞭になってきたことから、噴火が発生したと判断し、27日23時14分に噴火警報（周辺海域）及び23時18分に火山現象に関する海上警報を発表しました。その後、23時30分頃に噴煙が海面上約7,000mの高さまで上がっていることを確認しました。

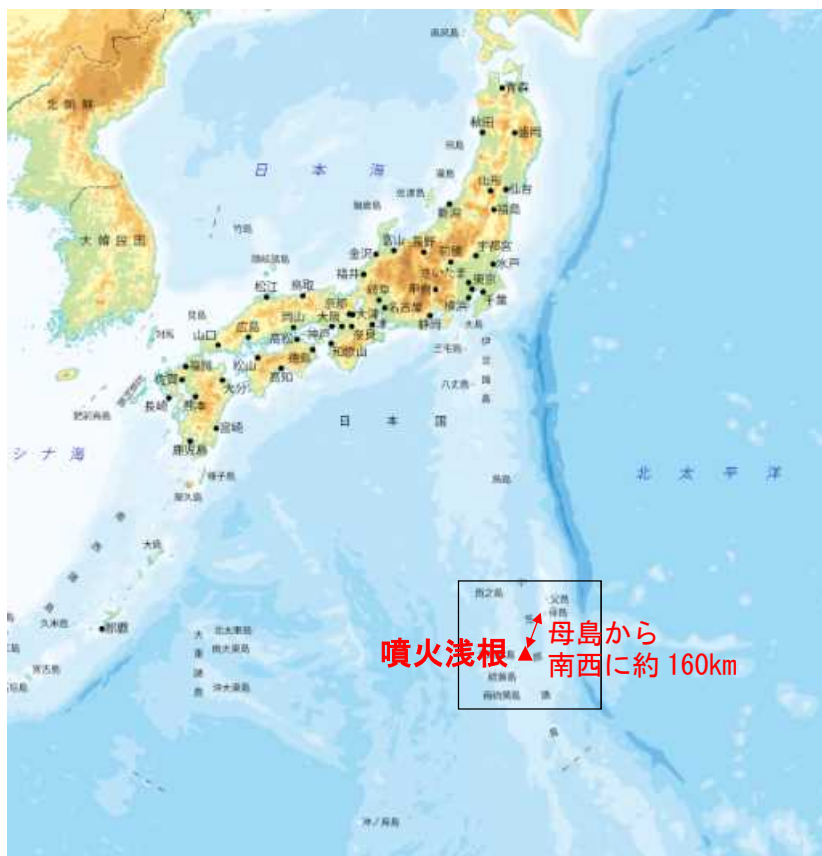


図1 噴火浅根 位置図

黒枠は、図2の衛星画像の範囲です。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ ([https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)) でも閲覧することができます。資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は、海上保安庁及び海上自衛隊のデータを利用して作成しています。

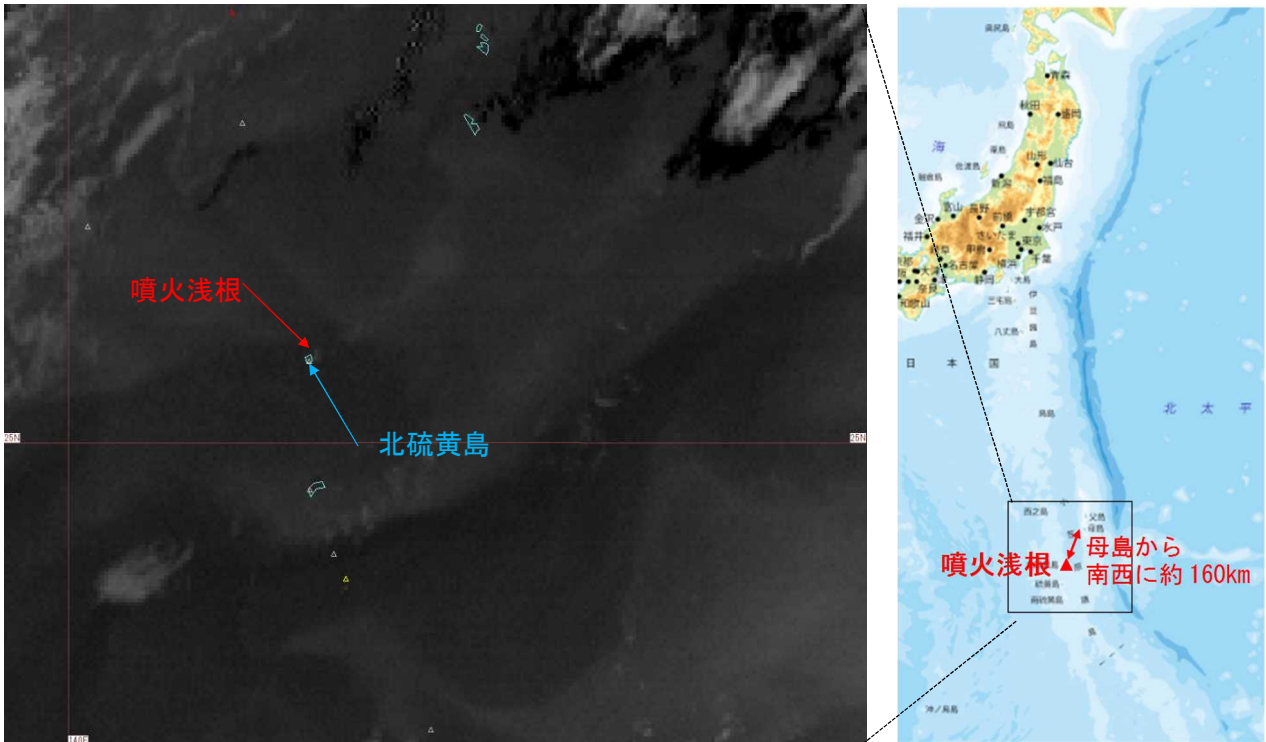


図2-1 噴火浅根 気象衛星ひまわりの画像（3月27日18時00分頃）  
・27日18時頃から噴煙の可能性がある雲が見え始めました。

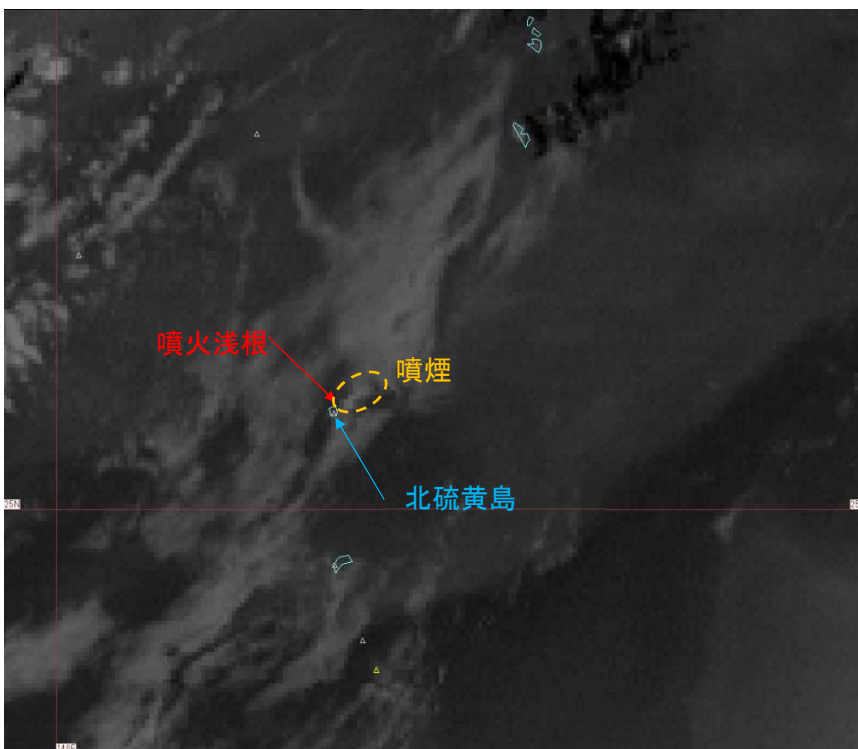


図2-2 噴火浅根 気象衛星ひまわりの画像（3月27日19時30分頃）

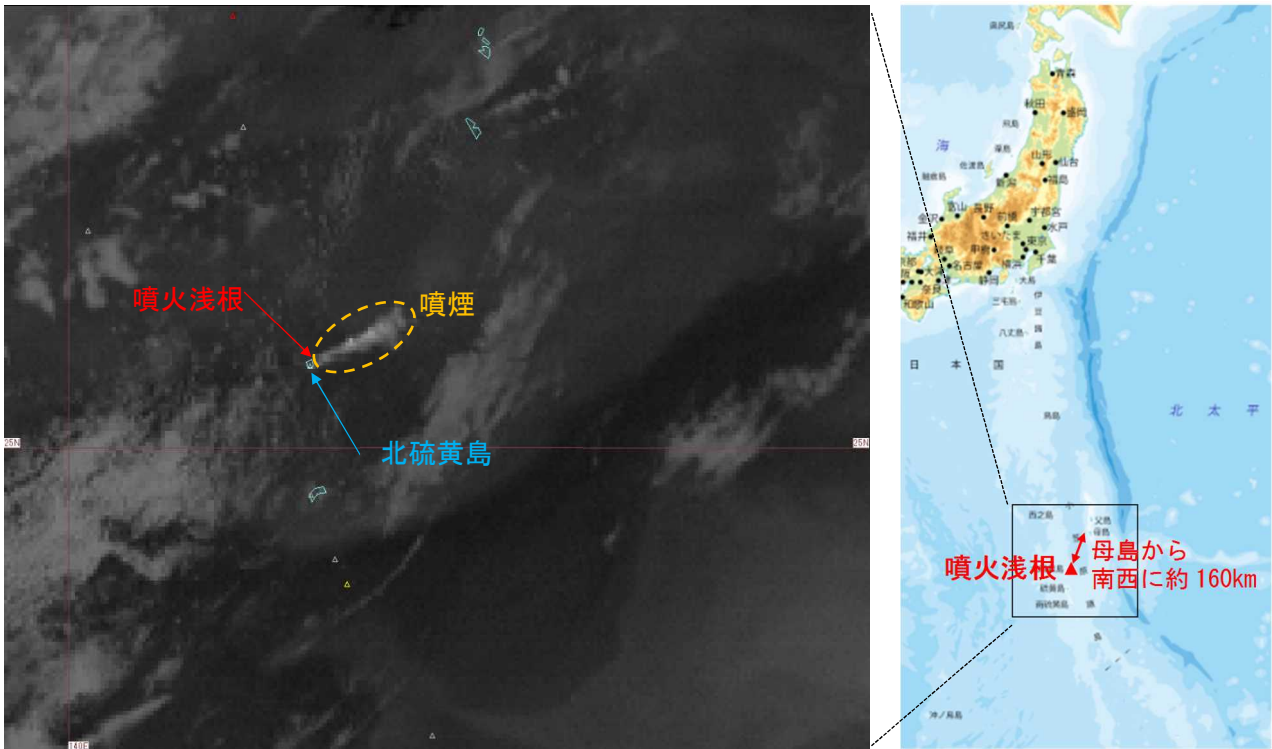


図2-3 噴火浅根 気象衛星ひまわりの画像（3月27日21時00分頃）

・27日21時頃から噴煙が明瞭になり、海面上約5,500mの高さまで上がっていることを確認しました。

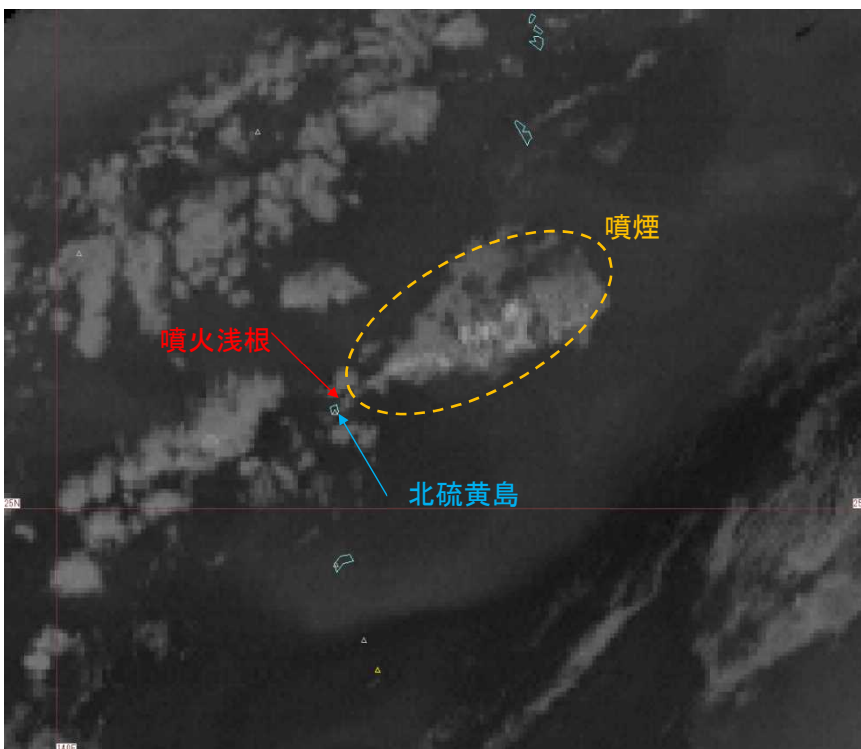


図2-4 噴火浅根 気象衛星ひまわりの画像（3月28日00時00分頃）

・27日23時30分頃に噴煙が海面上約7,000mの高さまで上がっていることを確認しました。

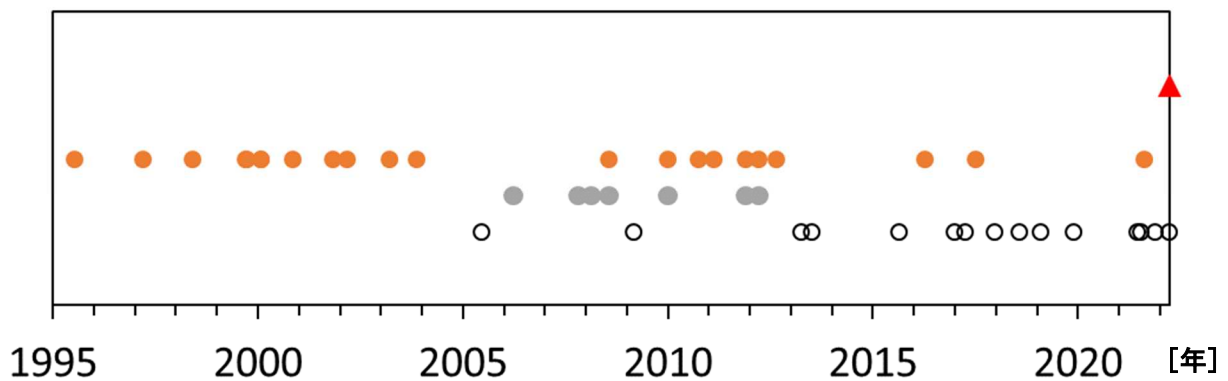


図3 噴火浅根 1995年以降の活動状況

シンボルがあるタイミングで観測が行われています。▲は噴火（気象衛星ひまわりによる観測）、●は変色水域が認められた観測、●は気泡の湧出が認められた観測、○は変色水域が認められなかった観測を示します。海上保安庁及び海上自衛隊の観測による。

- ・ 噴火浅根の噴火は、1930年から1945年にかけての噴火以来です。
- ・ 噴火浅根付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。
- ・ 2021年8月5日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、薄い青白色の変色水域が認められました。変色水が確認されたのは2017年6月28日以来でしたが、その後の2021年11月11日、2022年3月15日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、変色水域等の特異事象は認められませんでした。